

# 【様式】 令和7年度 高志中学校 学校関係者評価書

(問)

- ・学校評価書の成果と課題が適切であったか。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

(意見を聞いた方)

- ・高志高等学校・中学校PTA役員

(意見欄)

1教務部関係

- ・①の改善策において、AI利用のメリットとデメリットを正しく伝えるという点について、教育への利活用が叫ばれる中、大事なポイントだと感じました。今後に期待しています。
- ・③の成果と課題では、生徒の成長がアンケートから見られる一方で、過年度に掲載があった学力推移調査による考察が省略されていますが、これらに対する言及がなくなったのは理由があるのでしょうか。

2生徒支援部関係

- ・適切であると考えます。

3研究支援部関係

- ・適切であると考えます。
- ・①の、「下級生にとっては上級生の背中が次年度のロールモデルとなる」という成果は、今後、よき伝統や校風へとつながっていくことを期待しています。

4教育相談関係

- ・概ね適切であると考えます。

5学校教育DX推進

- ・適切であると考えます。
- ・成果と課題は適切だと思います。
- ・改善点、向上策は適切なものと思います。

6全体

- ・全体としては、適切であると評価します。
- ・近年、教育環境が大きく変わりつつありますが、生成AIなどの活用をはじめとする教育のDX化など、対応すべき課題が山積するなかで、先生方も多くの苦勞をされていると思います。先生方の日々の対応や創意工夫に敬意を表したいと思います。ありがとうございます。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・学校関係者からいただいたご意見を、令和8年度の各校務分掌の具体的な取り組みに活かしていく。
- ・教育環境の変化に対応できるよう、AIの活用方法やDX化への取り組みなどを検討していく。
- ・学力推移調査の結果の分析方法を検討するとともに、学力向上に向けた授業改善等の研究を加速させていく。